

# 碩 心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可  
 神奈川 碩 心 会 発 行

13年 2月現在 逗子地区 葉山地区 大船地区 (合計)	会員数 127名 187名 27名 341名	13年 2月 (343号) 発行者 千 葉 岳 関 編集者 白 井 岳 麗
--	------------------------------------	---

## 行事予定

- 詩舞紫舟流40周年記念発表会  
日時・4月30日(休) 午前11時  
場所・鎌倉芸術館小ホール  
協賛合吟に参加ご協力ありがとうございます。  
ます。吟題は次の通りです。
- 男性合吟 神州 20名
- 女性合吟 常磐孤を抱くの囀 45名
- 第112回全国吟道大会  
日程・平成13年11月4日(日)  
場所・東京国際フォーラム  
本大会に合吟コンクール参加を目指して  
神奈川県予選会に向け、碩心会の女性  
チーム20名が頑張っています。  
応援して下さい。予選会は4月21日(出)  
○第8回全国優秀吟者予選会  
課題吟により優秀吟者として、奮ってご  
参加下さい。
- 日程・7月15日(日)夜 碩心会予選  
締切日・6月26日(火) (指導者講習会)  
申込先・総務部 松井正岳  
通過者は9月末、神奈川県予選に出場  
課題吟は各支部宛にお知らせいたします。

## ○碩心会皆伝会員の皆様へ(皆伝以上)

先般、皆伝会13年度分の年会費として、  
五〇〇円を集金させていただきました。  
一昨年までは碩心会本部会計より補助金を  
出しておりましたが、皆伝会の運営費は、  
皆伝以上の皆様にご負担願うことになりました。  
ご協力とご理解をお願いいたします。

総務 松井正岳

## 平成13年初吟会を終えて

企画部長 内山 岳 青

平成13年の初吟会は皆様のご協力により、  
盛会裡に終わることができました。

当日お世話いただいた担当支部の方、及び  
参加者の皆様に改めてお礼申し上げます。

平成14年は1月13日(日)に開催。担当支部は  
葉山地区の堀内、諏訪、風早、滝の坂、上山  
口の各支部にお願いする予定になっておりま  
す。何卒宜しくお願いいたします。

○青壮年吟詠大会へ出吟。13年2月12日(休)  
日本教育会館一ツ橋ホールに於て開催され  
碩心会より次の方が出吟いたしました。

渡辺岳雲(逗子A) 小菅幸岳(一色)  
上村炎泉(滝の坂)

## 〇横須賀第二地区吟行会の案内

碩心会会員の皆様にはお馴染みの「さくらんぼ狩り」吟行会を、次により第二地区で行うことになりました。

寒河江吟友会の皆様が出迎えて下さること  
と思います。バス一台(45名定員)を碩心会  
で満員にたく考えています。ぜひご参加下  
さいますようお願いいたします。

日 程・平成13年6月17日(日)〜18日(月)  
行 程・第一日目〓

逗子―首都高―福島―山形県  
寒河江吟友会と交流―さくら  
んぼ狩り―蔵王温泉―蔵王国  
際ホテル(泊)

### 第二日目〓

蔵王温泉発―蔵王エコーライ  
ン―遠刈田山頂―白石(昼)  
白石城―二本松大隣寺―上河  
内SA―浦和―逗子

費用・3万円  
申込先・総務部 松井正岳 56-9232  
締切日・4月15日 お早めどうぞ

## 青壮年吟道大会に出吟して

逗子A支部 渡辺岳雲

このたび青壮年吟道大会参加と言うことで  
ふと20数年前の青少年大会を思い出した。た  
しか昭和49年に逗子で第二回県大会に出吟し  
その年九段会館でも全国大会に渡辺華山で出  
吟じた。その後30才まで出させていただき、  
やっと年寄りの仲間入りが出来たと喜んだも  
のだ。

さてその頃は自分もずいぶん下手だったと  
思うが、昔の録音など聞いてみると今と変わ  
っていないことに気がつく。矢張り鉄は熱い  
うちにある。

さてこのたびの大会を聞いて、あがってや  
り直したりする吟者は先ず男性である。しか  
も前に素晴らしい女性の朗詠が行なわれてい  
る。切磋琢磨でなく意識過剰である。しかし  
若いうちはそれも経験である。

しかし詩吟に大切なのは声であり、私は毎  
年二月には風邪で喉を痛め練習が出来ない。  
まず丈夫な心身を作りたいものだ。そして急  
に実力以上の吟は難しい。まず聞く人を疲れ  
させない詩吟をやりたい。

平成12年度

## 全国青壮年吟道大会に出席して

一色支部 小菅幸岳

高らかに響く吟声、会場を埋め尽くした人  
今まで経験したことのない雰囲気の中に身を  
置くことになったのは、去る2月12日の全国  
青壮年吟道大会でした。千代田区一ツ橋にあ  
る日本教育会館で、北は北海道から南は沖縄  
までの20才〜50才以下の人達が集まり、10時  
から午後4時45分まで行われました。

地方から参加した人は、それぞれの段位に  
ふさわしく、琴と尺八の演奏にのって堂々と  
朗詠していました。一方近県である神奈川県  
参加者は一番多かったのですが、吟詠は他県  
(特に東北)に劣ると感じました。私自身も  
初めての大会で鼓動は高鳴り、最後まで吟じ  
られたのが不思議なくらい緊張してしまいま  
した。

過ぎてみると「井の中の蛙」であったと感  
じ、何回も全国大会を経験してきた若い素晴  
らしい吟者の多くに接することが出来たのは  
とても良い経験であったと思ひ、参加の機会  
を与えて下さったことに感謝しています。

平成13年「碩心会初吟会」決算書

収入の部		支出の部		
摘要	金額	摘要	金額	備考
開催日：平成13年1月14日 開催場所：逗子会館 出席者数：会員（194名）+招待者（2名）=計196名				
会費 3,000円x194名	582,000円	逗子会館関係	210,000円	
本部会計補助	24,936円	会場費 200,000円 消費税 10,000円		
指導者会より	30,000円	弁当代 1,300円x196名	254,800円	(株)ダイカ
寄付 新巻伝者(5名) 5,000円 鹿嶋岳久先生 5,000円 加藤岳心先生 10,000円 白井岳龍 様 清酒 笠原商店 様 清酒	20,000円	飲み物、つまみ等 日本酒 6,900円 ビール 33,000円 つまみ 49,500円 ウーロン茶他 24,250円 消費税 5,683円 みかん代 15,000円	134,333円	笠原商店 , , , , 八百酒
雑収入 酒返品分 4,683円 ビール販売却代 1,495円	6,178円	余興参加費	7,371円	
		事務費、会議費等 コピー代及び消耗品代等 11,134円 保険料 3,200円 担当支部、企画部打合費 10,276円 担当支部謝礼 5,000円 事務費及び事務連絡費 12,000円	41,610円	
		お車代(招待者)	15,000円	
収入合計	663,114円	支出合計	663,114円	
		残金	0円	

企画部長 内山岳青(印)  
企画副部長 田中明岳(印)  
" 星野輝岳(印)

## 指導する者―受ける者

絵でも書でも、あるいは他の工芸品でも、その出来栄は眼前に永く展覧されるため、その良し悪しを同好者は勿論、自分にも納得がゆくわけであるが、幸か不幸か詩吟の場合には、その点全く不鮮明である。自分ほうまいのだと思ひ込んだら最後、もし他人から注意でも受けると不快この上もないというわけで果ては従来親交まで阻害される場合がないとは言い難い。

未熟者がいい気になっていたとすれば、恥をさらすこととなり、また将来の進歩に多大の支障となることは多言を要しない。

武者小路実篤著『楽園の子等』の中で、同氏は「自分の馬鹿なことを知るものは救われる。自分の馬鹿に気がつかず、他人の馬鹿だけに気がつくものは、本当の馬鹿である。」と平易に直言されているが、拳拳服膺すべき良薬だと思ふ。指導を受ける側としてはよく謙虚な気持ちで、注意深く指導者の吟詠に従い、かつ練習これ努めることと併行して指導者の忠言を希望する。一方指導者側としては指導を受ける者の短所を正し、長所を育

てることに忠実でなければならぬと思つてゐる。そして弟子と根氣のがちり合つたとき、正しい方向が見い出されるものと考え、また高格な吟詠は単に技術だけでは生まれてこないから、あらゆる面で自己を育てることに不断の留意が肝要であつて、心技相応を念頭に置くべきだと思ふ。

―ある著名な吟詠家の弁より―  
俳句

滝の坂支部 佐久間 岳 爽

一村の霽に残りし雉子のこえ

雲流る誰にも遍路ごころかな

少年に貝塚ひかり春の蟬

短歌

一色支部 長 島 玉 岳

雲の上飛行し仰ぐ月冴えて

清き心となりて拜せり

ロスに着き見果てぬ砂漠ひた走り

不夜城誇るラスベガスへ入る

わが側に立つ人いつも外国のとくに

人にて旅を夜ごと夢見る。

## 入会

360 堀江 光夫 三浦郡葉山町一色二二七二

(堀内B) ☎〇四六八―七五―一三二〇(街) 七五―七六七四(街)

361 堀江美恵子 三浦郡葉山町一色二二七二

(堀内B) ☎〇四六八―七五―七六七四

紹介者 角田有泉

## 退会

20 井澤岳潮 (諏訪) 25 松野岳宝 (若葉)

46 井澤鈴岳 (諏訪) 253 山本幸山 (松和)

297 宮崎京山 (若葉) 346 及川幸山 (幸和)

## 編集後記

立春も過ぎ、各地から梅の便りも聞かれ、外に出るとほのかな香りが春の訪れを感じさせてくれます。

3月に入ると春季審査会、行事もだんだん増えて外出する機会も、声を出すことも多くなってまいります。

今日、編集会議の初めに、どうしたら「楽しみ」にしていただけの会報誌になるかと検討した結果、一人でも多くの皆様からの原稿(情報、アイデア等) 沢山の投稿をいただき、更により良い広報にしたいと言うことになりました。ご協力をお願いいたします。